

じいちゃんは山友達

木下新太きのしたあらた

「おうい、今日も山登りにいくよ。」

じいちゃんのよぶ声でした。ねていたぼくは、いそいでおきてじゅんぴをする。持っていくものは、虫とりあみと水とうとべんとう。外にでると、もうおじいちゃんは待っていて、手作りのほていちくをもらうといよいよ山へ出発だ。

じいちゃんには、いろいろな山につれていってもらった。中でも一番登ったのは、ぼくの家の近くの井野山だ。かた道だけで一時間はかかる山だ。でもぼくは、きつくない。なぜなら、じいちゃんがいろいろな話をしてくれるからだ。きれいなき声のさんこう鳥や昔からある鉄とうなどさんのことを教えてくれる。それと山の中にある大きな木のことも教えてくれた。それはネムの木といってよろこびの木といわれているそうだ。その木を見て、じいちゃんはいつもうれしそうにしている。ぼくもこの木を見ると元気がでてる。

山ちようにつくと、まずは、ごっこ神の石におまいりをする。そして、二人でいっしょに、ばあちゃんがつくってくれたべんとうをたべる。きれいなけしきをみながら、二人でいっしょに食べるおにぎりは、とってもおいしい。ぼくが虫とりをして遊んでいる間、じいちゃんはベンチで休んでいるけど、しばらく

すると、おやつを出してくれる。じいちゃんとはあちゃんは、ぼくのために、いつもいろいろなものをよういしてくれている。

じいちゃんと山に登ると、いつも発見がある。今日は、山を下りている時に、新しい道を教えてくれた。いつもと知らない細い道でちよっとときどきしたけど、ちゃんと元の道にもどって行くことができた。ほうけんをしたみたいで、とてもおもしろかった。じいちゃんは、井野山のことなら何でも知っている。もしかしたら、じいちゃんは、山と友達なのかもしれない。だから、じいちゃんと山友達のはくも、きつと山と友達になれると思う。

はじめは、歩くのもおそく、時間がかかっていたが、じいちゃんはいつも待っていてくれた。そのうち、歩くのもはやくなってきた。じいちゃんは、

「新太と山に登るのは楽しい。」

と言ってくれる。ぼくも、じいちゃんといっしょに山に登ることには楽しい。じいちゃん、ぼくを山登りにつれていってくれてありがとう。これからもいっしょに、楽しく、いろいろな山に登ろうね。